

2017年12月6日

JDS 事業ラオスモニタリングミッション14名が来訪されました。

JDS（人材育成奨学計画）は、1999年度より開始された無償資金協力による留学生受入れ支援事業であり、そのプログラム実施についてよりよい事業計画、運営を行うために企画された訪日研修ミッションが JDS 運営委員及びラオス教育・スポーツ省等の政府関係職員14名で来訪されました。本学では、川田学長から歴史的背景を踏まえた日本の特徴的な教育制度と本学のユニークな専門職人材教育の紹介がされ、前田教授から JAIF 事業において開発されたマルチバーシティ教育システムの説明が行われました。キャンパスツアーでは佐々木特任教授、網代助教の案内で高専の総合工場、大学の夢工房などの主要施設を視察しました。参加者は研修目的の一つであるラオスの労働力に直結する職業人材育成について熱心に見学されていました。

川田学長による日本の教育制度
及び本学の専門職人材教育についての説明



前田教授による JAIF マルチバーシティ事業の説明



夢工房で作品を見学する参加者



正面玄関前での集合写真

